

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

支所名	里支所	支所長名	平嶺 休丸
-----	-----	------	-------

支所の 経営資源	構成人員	計	職員	嘱託	計
			24人	2人	26人

支所の使命 (組織の存在価値)	<p>里支所の使命は、「みんなのふるさと 躍動薩摩川内」を実現するため、目的意識を持って挑戦することである。</p> <p>(1)スピーディで質の高い行政サービスの向上を実現する。 (2)協働・参画で快適な生活環境づくりを目指す。</p>	組織目標像	<p>【支所の目標像】</p> <p>(1)本庁・支所の連携を密にして、スピーディな事務処理の実現。 (2)コミュニティ協議会との協働による自主性のある地域づくりの構築。 (3)明るい挨拶と笑顔の絶えない市民の目線にたって考え・行動する支所。</p>
--------------------	---	-------	---

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
共生・協働の推進	(1)コミュニティ協議会との連携	地区振興計画作成支援 よかまちきやんせ定住プランのPR・取り組み コミュニティ活性化事業	第2期里地区振興計画6月策定 空家情報の提供 鹿の子百合11月植栽	目標達成 公営・一般・民間住宅は、満杯状態。教職員住宅の空家対策が今後の問題 11/14 実施
安全安心な地域づくり	(1)自主防災組織の活動支援	自主防災組織の訓練 AED(自動体外式除細動器)講習会	未実施 6/5 教職員対象実施(10人) 9/29 AED講習会実施(8人) 7/6 中学校.7/13 小学校海上保安部水難救助訓練	未達成(新役員体制での対応) 目標達成 目標達成 H22も実施予定(海上保安部協議済)
スピーディで質の高いサービス提供	(1)本庁・支所の情報の共有化	「報(報告)連(連絡)相(相談)」の徹底 接遇研修等の実施	支所連絡会議 毎週火曜日 各課において指導	定例連絡会のほか臨時会を開催し、早急な問題解決に取り組んでいる
観光の推進	(1)参加・体験型観光の誘致	ブルー・ツーリズム推進体制の充実 甌島体験プログラムの実現	7/13 福岡地区旅行エージェント甌島視察 体験プログラムの見直し	ブルー・ツーリズムの気運がいまいち盛り上がっていない。 2回のエージェント甌島視察の成果を活かす方が必要

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

	(2)景観啓発地区「長目の浜」の保存	長目の浜シンポジウム 海岸清掃 銚崎展望所遊歩道設置事業	7/27 現地調査, 10/31 シンポジウム開催 毎月第3日曜日実施 未執行	目標達成 新たな景観地区の選定予定(自治会総会で決定) 目標達成 繰越事業でH22に実施
	(3)交流人口の拡大	トンボロ芸術村コンテストの継続 音楽事業・ワークショップの実施 KOSHIKI ART PROJECT への支援及び交流の拡大	1,355人, 1,960点の作品出展+123人, 15点 「甌の風 音楽祭」8/17 川内北中, 8/18 手打小, 8/19 里公民館 8/6「第1回活力・協働まちづくり団体」グランプリ受賞 8/22 ~ 8/30 KOSHIKI ART EXHIBITION 2009 開催	目標達成 薩摩川内市内の小・中・高の出品が極端に少ない(審査員からも指摘を受ける) 目標達成 コンサート実施地区は, 毎年拡大している 目標達成 H22 から補助事業として予算化
農林水産業の振興	(1)離島漁業再生交付金事業	種苗の放流 藻場造成 鮮度保持試験(プロトン加工)	ウニの移殖放流 コンクリートブロック 150 個設置 プロトン凍結キビナゴのPR	目標達成 本年度で事業完了 新たにH22 から事業が展開
「元気な島づくり」対策	(1)各種団体との連携・交流	コミュニティ協議会・自治会 商工会・商工会青年部 甌島漁協・里漁協青年部 婦人団体 里地域活性化委員会「里きばらん海」への協力・支援	景観啓発地区及び支所のあり方意見交換会 各種イベント開催への参加・協力 8/22~10/31「第1回甌イカ釣り大会 in S A T O」開催	目標達成 すべての行事・イベントは, 各種団体の協力・参加で実施 目標達成 実施期間が長期で問題があり, 次年度から1日での開催へ移行
医療体制の強化	(1)医療環境の整備	最新医療機器の整備 歯科業務の支援体制強化	未執行 里・上甌地区交互診療体制実施	目標達成 ・全身用X線CT装置一式 ・デジタルX線TV装置&天井走行式X線一般撮影装置一式 目標達成 住民への広報及び理解を徹底したので, 問題なく実施中

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

年度中間総括	<ul style="list-style-type: none">・支所の使命・目標像については、各課の連絡会で確認し、共通の認識を持ち取り組んでいる。・成果目標については、2件の未執行があるが年度内完成に向け準備中である。
年度末総括	<ul style="list-style-type: none">・市長のマニフェストに対する職員の意識が浸透しつつあり、目標は概ね達成できた。・自主防災組織の訓練は、9月以降の週末にイベントが重なり、日程調整が厳しかった。コミュニティ協議会とも話し合いを重ねたが実施に至らなかった。今後は、住民への負担が大きくなるようなスケジュールを組んで対応したい。・ブルー・ツーリズムの気運が盛り上がり欠けているのは、甑島航路体制に対し閉塞感が感じられる点があるのではないかと。2回開催したエージェント招待事業の結果を踏まえた協議を早急に行う必要がある。・今後は、市長の考えと職員の行動は、常に同一の方向にあることを確認し、支所内の意識を高めて高度の行政サービスを提供できるように挑戦したい。